

政務活動報告書

活動事項	国(内閣府・厚生労働省)との意見交換会
活動年月日	平成30年4月26日(木)午後3時
場 所	中央合同庁舎第8号館 8階 822会議室
活動相手方	・内閣府 : 子ども子育て本部子ども支援担当 児玉企画官、川岸参事官補佐 ・厚生労働省 : 保育課 斉藤課長補佐、大島
目的・内容・結果等	<p>【目的】</p> <p>鳥取県では、「子育て王国鳥取推進議員連盟」を結成し、「子育て王国」の確立を目指し取り組みを推進してきた。本県における子ども子育て支援施策等の今後の方向性を検討する為の意見交換。</p> <p>【内容】</p> <p>本県より、事前に意見交換に対する以下の三項目を提案し国の意見を求めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業主導型保育事業の課題 ②保育の質の向上、良質な子育て環境の確保 ③新制度の現状評価と都道府県の取り組みについて <p>以上の項目について、内閣府、厚生労働省の各担当の方々の説明があった。説明後議員との意見交換会を行った。 詳しい説明は別紙参照</p> <p>今回に意見交換は、「子育て王国とっとり建国運動」において、今後の方向性を検討する上で重要な意見交換となり、また、国における新制度の現状等を学ぶことができた。我が県の「子育て王国」の確立をめざして、それら、学んだことえお生かし議会に取り上げ、課題解決に向けて強く推進して行きたい。</p>
関連領収書番号	9

平成30年4月20日

子育て王国とっとり推進議員連盟会員 各位
(標題の意見交換会に参加される議員のみ)

子育て王国とっとり推進議員連盟
会長 安田 優子

国（内閣府・厚生労働省）との意見交換会について

本議員連盟と国（内閣府・厚生労働省）との意見交換会について、集合日時及び集合場所を下記のとおりとしますので、お知らせします。
なお、直接、意見交換会会場へ行かれる場合は、その旨、ご連絡ください。

記

- 1 集合日時
4月26日（木）午後3時
- 2 集合場所
鳥取県東京本部
(東京都千代田区平河町 2-6-3 都道府県会館 10階 電話 03-5212-9077)
※東京本部から会場までは徒歩若しくはタクシーで移動予定

－ 参 考 －

【意見交換会概要】

＜日時＞ 4月26日（木）午後4時から午後5時頃まで

＜会場＞ 中央合同庁舎第8号館 8階 822会議室

＜対応省庁及び内容＞

対応省庁	意見交換会内容
内閣府 厚生労働省	○企業主導型保育事業所の課題 ○保育の質の向上、良質な子育て環境の確保について ○新制度の現状評価と都道府県の取組について

＜参加者＞ 別添名簿のとおり ※意見交換会当日までに変更があるかもしれません。

議会事務局調査課 安養寺、池原
電 話 0857-26-7880
ファクシミリ 0857-26-7461

【子育て王国とっとり推進議員連盟】

内閣府・厚生労働省との意見交換について

鳥取県では、県民一人ひとりが子育てを自らのこととし、地域全体で子育て・人育てを推進していく「子育て王国とっとり建国運動」を展開しており、鳥取県議会においても、超党派議員18名で構成する「子育て王国とっとり推進議員連盟」を結成し、この「子育て王国」の確立を目指しているところです。

子ども・子育て新支援制度が平成27年度から施行され2年が経過するところであり、当議員連盟では県内外の保育事業所を訪問し、新制度の実施状況等について視察を行ってきました。

つきましては、本県における子ども・子育て支援施策の今後の方向性を検討するため、子ども・子育て支援新制度の現状について国ではどのように評価されているのか等を伺いながら、主に次の点について意見交換を希望するものです。

○ 企業主導型保育事業の課題

新制度で導入された企業主導型保育事業は、保護者の様々なライフスタイルに対応でき、待機児童問題の解消に大きく寄与するものです。ただし、計画段階で市町村の意見を聴く仕組みがないため、保育ニーズを上回る整備計画であっても助成決定され、市町村の保育の確保対策に影響を及ぼす場合があります。また、保育料を自由に設定できるため、認可保育所等より安価な保育料とされた場合、市町村の利用調整に支障をきたす恐れがあります。

本県においては、一部地域において急速に企業主導型保育事業所が増加したため、保育士の引き抜き・奪い合いの状況が見受けられます。保育ニーズを超える企業主導型保育所の整備が進めば今後ますますこの状況が悪化していくことになりませんが、企業主導型保育事業の課題について、国としてどう考えておられるか。

○ 保育の質の向上、良質な子育て環境の確保について

特に新設の保育所では、保育士不足に伴い経験のある保育士を確保できない、協会等の業界団体に属しておらず事業者間での情報交換や勉強会等の連携がとれていないなど、職員の資質向上・保育の質の確保が懸念されます。

また、保育の受け皿を急速に増やす中で、主に都市部では園庭が確保できず、ビルの一室で子どもが1日を過ごすなど、子育てする上で決して良質な環境とはいえない状況があります。

保育の質の向上や良質な子育て環境の確保について国としてどう考えておられるか。

○ 新制度の現状評価と都道府県の取組について

従来から厚生労働省が行ってきた保育施策に加え、内閣府所管での子ども・子育て支援新制度が導入されたわけではありますが、内閣府及び厚生労働省ではそれぞれ、子ども・子育て支援新制度の現状をどのように評価されているのか、一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会のさらなる推進に向けて、今後国として何を行っていく予定か。

政務活動報告

活動事項	島根原子力発電所会派合同政務調査
活動年月日	平成30年6月12日(火)午後1時45分～午後3時45分
場 所	島根県原子力発電所
活動の相手	中国電力株式会社
目的・内容 結果等	<p>【目的】</p> <p>島根原子力発電所における、防波堤の整備、外部電源の二重化等施設の整備、3号機の改良沸騰水型(ABWR)の特徴等安全性等について説明と現地視察</p> <p>【内容】</p> <p>○資料により島根原子力発電所の概要の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波堤(海拔15m)の整備、外部電源の二重化、フィルター付きベントの整備、注水施設の整備、放水砲の整備について ○原子力発電所の安全対策、特に3号機についての説明 ・改良沸騰水型(ABWR)の特徴(原子炉内蔵再循環ポンプ、改良型制御棒駆動機構等)による安全性の説明について <p>○3号機の現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型表示板、色、配置等を工夫しヒューマンを防止 ・原子炉建屋内に水素が漏洩した場合に備えて水素検知器を整備し、触媒により自動的に水蒸気に変化する装置を設置 ・メルトダウン時に原子炉格納容器との接触を防止する耐熱材(コリウムシード)を整備等中央制御室、タービン、原子炉等についてせつめいを聞きながら現地視察を行った。 <p>【結果(成果)等】</p> <p>○鳥取県において、30km県内に境港市、米子市があり、原子力災害対策に非常に敏感になっている。福島第一原子力発電所の事故を教訓を踏まえて、安全に対する設備対策、緊急時対応力の向上(避難対策含む)等の動きも注視しながら議会でも強く取り組んで行きたい。</p> <p>○別紙参照</p>
関連領収書番号	30、40

会派自民党・公明党・会派希望・福浜議員 政務調査日程

平成30年6月11日

1 日 時 平成30年6月12日(火)

2 調査先 島根原子力発電所

3 日 程

時 間	場 所	備 考
11:40	鳥取駅発	スーパーまつかぜ5号
12:09	倉吉駅発	↓
12:41	米子駅発	↓
13:01	松江駅着	↓
	タクシー(約40分)	島根原子力発電所 一矢(いちや)案内所
13:45	島根原子力発電所 (松江市鹿島町片匂654-1)	現地調査及び意見交換 ・島根原子力発電所の安全対策について
15:45	電話:0852-82-2220	
	タクシー(約40分)	
16:30	松江駅着	
16:43	松江駅発	スーパーおき4号
17:08	米子駅着	↓
17:41	倉吉駅着	↓
18:16	鳥取駅着	↓

4 その他

- (1) 当日、自動車の運転免許証を必ずお持ちくださいますようお願いいたします。
- (2) 昼食は各自でお取りいただきますようお願いいたします。
- (3) JRの切符は各自でご購入いただきますようお願いいたします。

平成30年6月12日
島根原子力本部広報部

島根原子力発電所ご視察スケジュール

1. 日 時 平成30年6月12日(火) 13:45 ~ 15:45
2. 場 所 島根原子力発電所
3. スケジュール

○13:45頃 島根原子力発電所 ご到着

○14:00~14:15 (15分) ご挨拶, 概要説明 (免震重要棟)

○14:15~14:25 (10分) 安全対策ご視察
・免震重要棟
・可搬設備
・耐震緊急時対策所 (外観のみ)
・発電所全景

○14:30~15:20 (50分) 3号機現場ご視察
・見学ルーム (中央制御室, タービン, 原子炉)
・上部ドライウエル
・下部ドライウエル
・圧力抑制室

(移動)

○15:25~15:45 (20分) 質疑応答 (免震重要棟)

○15:45頃 島根原子力発電所 ご出発

以 上

政務活動報告

活動事項	全国地方議会サミット2018「議会のチカラで日本創生」先進事例・講演会参加
活動年月日	平成30年7月11日(水)～平成30年7月12日(木)
場 所	東京都 早稲田大学大隅記念講堂大講堂
活動相手	ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟マニフェスト大賞実行委員会
目的・内容・結果等	<p>【目的】</p> <p>少子高齢化・人口減少等深刻な課題が地方自治体につきつけられている。その為に、課題解決に向けて、先進的な議会の政策、地域貢献するための実践についての研究調査</p> <p>【内容】</p> <p>第1日目 7月11日(水)</p> <p>【基調講演】 「地方議会から日本を変える」北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事 【特別講演】 「地方創生の展望」野田聖子 総務大臣 【講演、ディスカッション】「真の地方創生とは何か」 【課題整理】「地方創生時代に求められる議会」 【パネルディスカッション】「議会力強化のための議会事務局の変化」</p> <p>第2日目 7月12日(木)</p> <p>【先進事例報告①】 「地方創生をリードする議会へ」進行: 廣瀬克哉 法政大学教授 【先進事例報告②】 「政策を実現する議会へ」 【講演】 「海外の議会制度から議会の多様化を考える」中林美恵子 早稲田大学名誉教授 【パネルディスカッション】「政策多様性ある議会に向けた実践と課題」 【提言、総括】「政策型選挙の実現に向けて」</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>少子高齢化、人口減少等地方自治体に於いて多くの課題が山積しています。今回の研究調査は、基調講演、先進事例を通して、課題解決に向けて希望が見えてきたような気がしました。学んだ内容を本県で活かし、少子高齢化、人口減少対策に希望が持てる取り組みを提案し反映させて行きたい。</p>
関連領収書番号	59, 60, 61, 62, 63

7/11-12

早稲田大学大隈記念講堂大講堂

全国地方議会サミット2018 議会のチカラで日本創生



少子高齢化、人口減少など、深刻な課題が自治体に突き付けられています。そのなかで、議決権をもつ議会には、魅力的な地域づくりを行うための重大な責任と豊かな可能性もっています。サミットでは、早稲田大学大隈記念講堂に先進的な議会が集結し、政策で地域に貢献するための実践について議論します。「地方創生時代を議会がリードする」そんな新時代への大きな場面転換の場に、これからの議会のあり方を全国に向けて発信します。

《概要》

【日時】2018年7月11日（水）13：00～17：30
2018年7月12日（木）09：30～16：00

【場所】早稲田大学大隈記念講堂大講堂
（東京都新宿区戸塚町1丁目104）

【対象】議会議員、議会事務局職員、一般 1,000名
【主催】ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟
マニフェスト大賞実行委員会

【共催】早稲田大学マニフェスト研究所

【参加費】現職議員 10,000円
議会事務局職員、一般 5,000円
（2日間分。1日のみ参加も同額）



※参加費は7月5日までに名前を明記しお振込みください。手数料はご負担ください。
三菱UFJ銀行・日本橋中央支店・普通・0200471 一般社団法人マニフェスト研究会
※1日目終了後、18:00～意見交換会を大隈ガーデンハウスにて開催します。
先着200名様。参加費（一人4,000円）は、意見交換会会場にて当日お支払いください。
※参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自で手配ください。

《お申込み》

裏面FAX用申込み用紙またはwebサイトからお申込みください
<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

《お問合せ》

早稲田大学マニフェスト研究所（担当：永尾、中村）
TEL:03-6214-1315 / E-Mail: mani@maniken.jp

■ 1日目：7月11日（水）13:00-17:30 ※プログラムは変更の可能性がございます

【基調講演】「地方議会から日本を変える」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事

【特別講演】「地方創生の展望」

野田聖子 総務大臣

【講演、ディスカッション】「真の地方創生とは何か」

片山善博 早稲田大学教授、元総務大臣／地方創生と地方議会の役割

大西一史 熊本市長／震災復興と地方創生

【課題整理】「地方創生時代に求められる議会力」

江藤俊昭 山梨学院大学教授

【パネルディスカッション】「議会力強化のための、議会事務局の变革」

小林宏子 東京都羽村市議会事務局長

清水克士 滋賀県大津市議会局次長

▽進行：千葉茂明 月刊『ガバナンス』編集長

※終了後、意見交換会を開催

■ 2日目：7月12日（木）9:30-16:00

【先進事例報告①】「地方創生をリードする議会へ」

目黒章三郎 福島県会津若松市議会議長／住民との対話から課題解決へ

子籠敏人 東京都あきる野市議会議長／広報改革から展開する議会改革

ピアンキ・アンソニー 愛知県犬山市議会議長／自由討議で委員会提言へ

川上文浩 岐阜県可児市議会議長／委員会代表質問と政策サイクル

▽進行：廣瀬克哉 法政大学教授

【先進事例報告②】「政策を実現する議会へ」

尾崎大介 東京都議会議長／条例マニフェストと議会改革

松本研 横浜市会議長／議員提案条例による政策実現

【講演】「海外の議会制度から議会の多様性を考える」

中林美恵子 早稲田大学教授

【パネルディスカッション】「多様性ある議会に向けた実践と課題」

本間まさよ 東京都武蔵野市議会議長

岩永ひさか 東京都多摩市議会議長

白川 静子 神奈川県茅ヶ崎市議会議長

【提言、総括】「政策型選挙の実現に向けて」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事、ほか ※終了後、参加者全員で記念撮影

〈 FAX用 申込み用紙 〉

お名前	濱辺 義孝	電話番号	090-3795-9752
ご所属	公明党	メールアドレス	
参加内容	<input checked="" type="checkbox"/> 1日目研修会	<input checked="" type="checkbox"/> 意見交換会	<input checked="" type="checkbox"/> 2日目研修会

FAX送信先



03-6214-1186

政務活動報告

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会、現地調査及び意見交換会
活動年月日	平成30年7月19日(木)
場 所	兵庫県新温泉町
活動相手	・山陰ジオパーク推進協議会・京都府丹後広域推進局・兵庫県但馬県民局ジオパーク課長 ・鳥取県生活環境部長、生活環境部山陰海岸ジオパーク海と大地の自然観館長、課長補佐
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の総会及び山陰海岸ジオパークが売りの但馬海岸の海上視察</p> <p>【内容】</p> <p>■総会</p> <p>(1)平成29年度事業報告について</p> <p>(2)平成30年度事業計画について</p> <p>(3)各府県要望活動</p> <p>■現地視察</p> <p>○講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界ジオパークネットワークが求めるものと各ジオエリアのギャップ現状 ・行政主導から事務局(NPO)主導への方向転換の必要 ・各ジオエリアの長所と短所を写真で説明 <p>○現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・但馬海岸遊覧で山陰ジオエリアの海上視察 <p>【結果(成果)等】</p> <p>山陰海岸地域ある地質遺産を保護・保全するほかジオツーリズムや教育への活用、地域社会への貢献等につながる。その活動を生かし、近隣地域の交流と地域の活性化、議会に反映させて本県地域発展に繋げていきたい。</p>
関連領収書番号	160

【概要】

山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会の総会・現地調査について

平成30年7月19日（木）

- ・ 総 会：午後1時から 新温泉町山陰海岸ジオパーク館 1階コミュニティ
- ・ 講 演：午後2時10分から 講師：鳥取環境大学 柚洞一央准教授
- ・ 現地調査：午後3時30分から 海上視察（但馬海岸遊覧）
- ・ 出席者：別添総会資料参照

【総会の内容】

1. 平成29年度の事業報告（案のとおり承認）
2. 平成30年度の事業計画（案のとおり承認）
3. 要望書について（案のとおり承認）
4. 要望活動

○山陰海岸ジオパーク推進協議会への要望書

藤縄会長→山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局長 秋吉秀剛氏

○京都府知事への要望書

巽副会長→京都府丹後広域振興局長 西村紀寛氏

○兵庫県知事への要望書

上田副会長→兵庫県但馬県民局ジオパーク参事 松浦幸浩氏

○鳥取県知事への要望

藤縄会長→鳥取県生活環境部長 酒嶋 優氏

【講演の内容】

- ・ 世界ジオパークネットワークが求めるものと各ジオエリアのギャップの現状
- ・ 行政主導から事務局（NPO）主導への方針転換の必要性
- ・ 各地のジオエリアの長所と短所を写真で説明

【現地調査の内容】

但馬海岸遊覧は、山陰海岸ジオパークの売りである、日本列島の成り立ちを順序立てて見ることができる海上視察であり、実際に地表の色や形状の違いを実感することができた。

山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会 総会

(御来賓) 兵庫県新温泉町 町長 西村 銀三 様

(会員：10名)

府県名	氏名	選挙区	備考
京都府	巽 昭	京丹後市	
兵庫県	上田 良介	美方郡	
鳥取県	藤 縄 喜和	鳥取市	
	銀 杏 泰利	"	
	瀨 辺 義孝	"	
	福 浜 隆宏	"	
	坂野経三郎	"	
	広 谷 直樹	岩美郡	
	長谷川 稔	倉吉市	
	川 部 洋	"	

(行政：8名)

府県名	氏名	職名等
山陰海岸ジオパーク推進協議会	西村 銀三	副会長(新温泉町長) ※再掲
	秋吉 秀剛	事務局長(兵庫県参与)
京都府	西村 紀寛	丹後広域振興局長
	村 上 章	" 企画総務部企画振興室長
兵庫県	秋吉 秀剛	参与 ※再掲
	松浦 幸浩	但馬県民局地域政策室 ジオパーク参事
	村尾 久司	" ジオパーク課長
鳥取県	酒 嶋 優	生活環境部長
	岸 本 英夫	" 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館長
	山下 直人	" 課長補佐

(事務局：2名)

府県名	氏名	職名等
鳥取県	鳥飼 敏博	議会事務局調査課 課長補佐
	有間 由紀彦	" 係長